

公示番号：160919

国名：マラウイ

担当部署：人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム

案件名：中等理数科教育強化プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2017年1月上旬から2017年3月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.83M/M、合計 1.33M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	25日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：12月14日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス（e-propo@jica.go.jp）への電子データの提出又は郵送（〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル）（いずれも提出期限時刻必着）

提出方法等詳細については JICA ホームページ（ホーム>JICA について>

調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示（業務実施契約（単独型））>業務実施契約（単独型）公示にかかる応募手続き）

（<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>）をご覧ください。

なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2017 年 12 月 29 日（木）までに個別に通知します。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- （計100点）

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	マラウイ／全途上国
語学の種類	英語

## 5. 条件等

### (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

### (2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

マラウイ国では、1994年に初等教育が無償化された結果、初等教育就学者数、続いて中等教育進学希望者数が急増した。マラウイ政府はコミュニティが建設した成人教育施設を中等学校(コミュニティ中等学校：CDSS)に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない低資格教員を中等教員として採用するなどし、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、中等教育就学者数は46,400人(1994年)から256,343人(2010年)に増加した。一方で、中等教員11,300人のうち正規の資格を有する教員は4,911人(44%)に留まり正規教員の不足が深刻である。また、有資格教員1人あたりの生徒数は、政府校で26名であるのに対し、CDSSでは62名、私立校では128名と学校種別間のばらつきが大きく、教員配置も不均衡である(教育マネジメント情報システム(EMIS), 2012)。後期中等教育修了資格試験(Malawi Secondary Certificate of Education)の合格率は、近年改善傾向にあるものの約54%(2011年)に留まり、教育の質的側面においても改善の余地がある。このように、中等教育セクターにおいては、アクセス面で大幅な改善がみられるものの、適切な教育を提供できる体制が整備されていないことが大きな課題として残されている。

JICAは、マラウイ教育省の要請を受け、「中等理数科現職教員再訓練プロジェクト(SMASSE)」(2004年9月-2007年9月)、「中等理数科現職教員再訓練プロジェクトフェーズ2(SMASSEフェーズ2)」(2008年8月-2012年8月)を実施し、理数科教授法を改善するための現職教員研修を全国で継続的に実施できる体制作りを支援してきた。SMASSEフェーズ2終了時評価調査では、教育管区レベルで現職教員研修を継続的に実施できる人的、組織的、財政的基盤の整備という成果が確認された。一方で、適切な資格を持たず教壇に立つ大多数の低資格教員の能力向上及び実践的教授法を習得した有資格教員の増加という課題には継続的な支援が必要であることが確認された。

このような背景のもと、マラウイ政府から我が国に対して、SMASSEフェーズ2の成果を普及・継続し、更なる理数科教員の能力強化を図るため、質の高い現職教員研修の継続的实施、ニーズ別研修の実施、新規教員養成課程(教育実習前)での実践的な教授法に関する研修実施を主なコンポーネントとするプロジェクトの要請がなされた。同要請を受けて、2013年8月から2017年7月までの4年間の予定で「中等理数科教育強化プロジェクト」(以下、本プロジェクト)が開始された。本プロジェクトは、マラウイ全国において、SMASSEアプローチ及びパイロット校でのアクションリサーチ(研修を踏まえた具体的な授業改善の取り組み)を踏まえ改善された研修が新規教員及び現職教員を対象に実施され、且つ現職教員研修の運営体制が強化されることにより、理数科教員の教授能力が向上し、もって中等学校における理数科の授業の質が向

上することに寄与するものである。特に本フェーズでは、現職教員研修の質的な向上を図りつつ、これまでに十分カバーしきれていない低資格教員等を中心に研修を実施している。加えて教員養成課程に SMASSE 研修を導入し、新規教員の質的向上にも取り組んでいる。また、研修で取得した知識や能力が十分に授業に反映されるよう、パイロット校においてアクションリサーチを実施し、生徒の理解度と学習到達度の評価を試みている。

2015年4月に実施した中間レビュー調査では、各成果における技術的な付加価値が特定された一方で、活動の大幅な遅れが確認された。このような状況を踏まえ、2015年6月に指標と活動の見直し及びPDMの改訂が行われた。また、2016年10月に実施された運営指導調査においては、活動に大幅な進捗が見られ、各活動において一定の成果が確認された。他方、持続性に課題があり、現職教育研修(INSET)実施体制の明文化やプロジェクト終了後の継続的な実施方法について検討する必要性が確認された。

本終了時評価調査は、2017年7月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績や成果を確認するとともに、新規プロジェクトに対する提言や類似事業の実施に当たっての教訓を導くことを目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ、情報を収集・整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間(2017年1月上旬～1月中旬)

- ①フェーズⅠ及びフェーズⅡプロジェクトを含む、既存の文献、報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存のPDM及び理数科教育協力分野の先行研究に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関、その他マラウイ側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を作成する。
- ④国内で収集可能なデータを整理・分析する。
- ⑤他の主要なドナーの動向(中期計画、実施中案件の内容及び進捗等)を情報収集する。
- ⑥対処方針会議等に参加する。

### (2) 現地業務期間(2017年1月下旬～2月下旬)

- ①JICAマラウイ事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。

- ③マラウイ側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④当該関連分野に関する他ドナーの動向、今後の方針について情報収集・整理する。
- ⑤収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑥国内準備作業並びに上記③～⑤で得られた結果をもとに、他の調査団員及びマラウイ側 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦調査結果や他団員及びマラウイ側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、必要に応じて PDM 及び PO の修正案（英文）の取りまとめに協力する。
- ⑧評価報告書（案）（英文）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
- ⑨協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑩現地調査結果を JICA マラウイ事務所等に報告する。

### （3）帰国後整理期間（2017 年 3 月上旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席し、報告を行う。
- ③調査結果を取りまとめ、担当業務に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）を作成するとともに、同報告書全体の取りまとめに協力する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- （1）評価報告書（英文）
- （2）終了時評価調査報告書（案）（和文）
- （3）評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

- （1）航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含まず（見積書に計上して下さい）。航空経路は、日本⇄（香港/シンガポール）⇄ヨハネスブルグ⇄リロングウェを標準とします。

## 10. 特記事項

- （1）業務日程／執務環境

### ①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2017年1月30日～2017年2月23日を予定しています。本業務従事者は、JICAの調査団員に約2週間先行して現地調査の開始を予定しています。

### ②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 協力企画 (JICA)
- ウ) 評価分析 (コンサルタント)

なお、本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下の通りです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・ チーフアドバイザー (長期専門家)
- ・ 業務調整/理数科 (長期専門家)
- ・ 理数科 (長期専門家)

### ③便宜供与内容

JICAマラウイ事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
必要な移動に係る車両の提供 (市外地域への移動を含む。)
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
あり
- カ) 執務スペースの提供  
なし

## (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<https://libportal.jica.go.jp/library/public/index.html>) で公開されています。

### ① 閲覧資料

- ・ プロジェクト基本情報 (ナレッジサイトトップ > プロジェクト情報 > 国別検索 > 分野課題別一覧 > プロジェクト基本情報) (<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/FD2D960CC121344B49257B8F0079DE4E?OpenDocument&pv=VW02040104>)
- ・ プロジェクト概要 (<https://www.jica.go.jp/project//malawi/003/outline/index.html>)
- ・ 基礎教育セクター情報収集・確認調査 国別基礎教育セクター分析報告書 (マラウイ)
- ・ マラウイ共和国 理数科教育強化計画プロジェクト実施協議調査報告書
- ・ マラウイ共和国 中等理数科現職教員再訓練プロジェクトフェーズ2終了

時評価調査報告書

- ・ マラウイ共和国 中等理数科現職教員再訓練プロジェクトフェーズII 中間レビュー調査報告書
- ・ マラウイ共和国 中等理数科現職教員再訓練プロジェクトフェーズII 実施協議報告書
- ・ マラウイ共和国 中等理数科現職教員再訓練プロジェクト終了時評価調査報告書
- ・ マラウイ共和国 中等理数科現職教員再訓練プロジェクト実施協議報告書

② 配布資料

本業務に関する以下の関連文書を、JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム（TEL:03-5226-8320）にて閲覧可能とします。

- ・ 中等理数科教育強化プロジェクト 中間レビュー関連資料

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICAマラウイ事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」(<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>)の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上